＜7月-8月のギャラリー展示＞

『心のなかの花が咲く壁』

７月８月の展示は、想像の花を紙で表現している一恵さんの切り紙の展示です。一恵さんは、小児病棟のニッチの飾りの文字やしりとり絵本、イナホ珈琲やレストランのテーブルに置かれた小さな花のカードを作ってくれたりと、開院してからずっとやさしい想いを切り紙で病院に届けてくれています。

ギャラリーでは『しりとりえほん』の展示をこれまで３度協力してくれましたが、今回は、一恵さんがこんな想いを花にたとえたらどんな花になるのかな…と想像しながらノートに貼った花たちをコピーさせてもらいました。

誰にだってうれしいことも、疑問に思うことも、想定外のことも起きるけれど、一恵さんはそれらの想いをどんな花に形作ろうかと日常の包み紙とにらめっこして、愉しみながら紙を切っています。
その優しいまなざしが、庭に見立てたギャラリーの壁にいろいろな花をさかせてくれました。